

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21051
課題名	小児に対する臍部人工肛門造設術の成績についての検討
研究期間	西暦 2021年 7月 12日 ～ 2023年 3月 31日
研究の対象	2000年4月1日から2021年3月31日までの間に、旭川医科大学小児外科で臍部人工肛門造設術・閉鎖術を施行した方
利用する試料・情報の種類	✓診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、病歴、治療内容、検査結果、画像診断結果、手術記録、病理検査結果など。）
研究の意義、目的	<u>子どもの人工肛門は閉じることを前提とした一時的な人工肛門であるため、管理が簡単でトラブルが少なく、閉じた後の創が極力きれいに治る方法が良いと考えています。日本では右上腹部に人工肛門を作る施設が多いですが、閉じた後の、創が大きく・汚い創痕として残ることがあります。当施設では、2000年から臍に人工肛門を作る方法を導入しています。閉じた後の創は臍の中におさまり、瘢痕も目立たず、多くの患者さん・ご家族に喜ばれています。臍に人工肛門を作る特有の問題点(腸が飛び出やすいなど)がありますが、人工肛門を作る際の工夫や管理方法で問題なく、過ごしている方がほとんどです。子どもに臍部人工肛門を作る報告は少ないので、術後成績について検討し、報告します。</u>
研究の方法	<u>2000年4月1日から2021年3月31日までの期間で、当科にて臍部人工肛門造設術・閉鎖術を施行した症例について、主にカルテを用いた診療情報・画像情報を検討する。</u>
その他	本研究の実施に際しては特に資金を必要としません。 本研究は企業や団体とのかかわりは無く開示すべき利益相反事項はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p><b>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b> 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学 外科学講座血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科 電話 0166-68-2494 FAX 0166-68-2499 <b>研究責任者：</b> 旭川医科大学外科学講座 血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科 助教 石井 大介</p>